

令和2年度第2回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会 スポーツ部会議事録

1 日時：令和2年10月16日（金） 午前9時30分～午前10時49分

2 場所：千葉市議会棟3階 第3委員会室

3 出席者：

(1) 委員

石井 慎一委員（部会長）、観音寺 拓也委員、望月 悦子委員、谷藤 千香委員

(2) 事務局

（都市総務課）

諏訪都市総務課長、須長課長補佐、亀井主査、佐々木主任主事、元起主任主事

（公園緑地部）

石橋公園緑地部長

（公園管理課）

植木公園管理課長、林主査、田邊主任技師、小島技師

4 議題：

(1) 議事進行について

(2) 千葉マリスタジアム（ZOZO マリスタジアム）の指定管理予定候補者について

5 議事の概要：

(1) 議事進行について

配布資料をもとに説明を実施した。

(2) 千葉マリスタジアム（ZOZO マリスタジアム）の指定管理予定候補者について

千葉マリスタジアム（ZOZO マリスタジアム）の選定要項等について施設所管課からの説明後、申請者へのヒアリングを実施し、選定基準に基づいた審査を経て、株式会社千葉ロッテマリーンズは千葉マリスタジアム（ZOZO マリスタジアム）の管理を適切かつ確実に行うことができると認められた。

○須長都市総務課長補佐 委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただいまより令和2年度第2回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を開催いたします。

事務局をしております都市総務課、須長でございます。よろしくお願いたします。

本日の会議でございますが、5名のうち4名の委員の皆様にご出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、本会議は成立しております。

会議に当たりまして、公園緑地部長の石橋よりご挨拶申し上げます。

○石橋公園緑地部長 改めまして、おはようございます。公園緑地部長の石橋でございます。

本来であれば、都市局長の青柳からご挨拶申し上げるべきところですが、代理で大変失礼いたします。

委員の皆様には、本日お忙しいところご出席賜りまして、誠にありがとうございます。本日の部会では、千葉マリスタジアムの次期指定管理者の候補者の選定ということでご審議をお願いしたいと存じます。

さて、マリスタジアムですけれども、プロ野球の公式戦をはじめまして、一般の各種の野球大会あるいはイベント、コンサート、こういった方で本市を代表する大規模集客施設ということで、年間約200万人の方がご利用される施設でございます。しかしながら、このコロナの影響というのを非常に大きく受けておりまして、現在の状況を若干ご説明させていただきたいと思っております。

まず、プロ野球の試合ですが、例年公式戦は70試合ということなのですが、今シーズンは60試合というように削減されております。また、公式戦1試合の入場者でございますけれども、収容人員の45%上限となっておりまして、1万3,500人に制限して開催されているというような状況でございます。

また、一般の野球などでの利用につきましても、ようやくこの10月から再開。それと、コンサートなどですが、やはりお客さんをスタンドに迎え入れてということはなかなか難しいようでございまして、無観客のライブ配信、そういった形での利用がぼつぼつと見られると、そういった状況でございます。

皆様ご存知のとおり、当該施設は指定管理委託料ゼロということで運営されております。4月、5月を中心にこういったイベント等が開催されなかったということで、非常に事業者側のほうも、指定管理者もその運営、大変苦勞しているということと、コロナ対策費として新たに2,500万円、これが追加で必要になったという、こういう状況がございます。したがって、9月に行われました市議会第3回定例会におきまして補正予算を計上いたしました。今年度分について約1億500万円、これを市から指定管理者に支弁すると、そういう措置を取ったところでございます。

現在も終息の状況が見えないということで、次期指定管理につきましてもなかなか難しい施設運営になるかということが予想されるわけでございますが、ウィズコロナにおきましても、よりよい魅力ある施設運営がなされるよう、そういったところを目指してまいりたいと考えております。

本日は委員の皆様それぞれのお立場からご審議、また、忌憚のないご意見をいただければと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○須長都市総務課長補佐 それでは、議事に入る前に会議の公開及び議事録の作成についてご説明いたします。お手元の資料3「千葉市都市局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及

び議事録の作成等について」をご覧ください。

本日の会議は、1、会議の公開の取扱いの（1）のとおり、公開としております。

傍聴者の皆様にお願ひ申し上げます。傍聴に当たりましては、お手元の資料4「傍聴要領」に記載された事項をお守りいただきますようお願いいたします。

なお、会議資料につきまして、非公開の情報が含まれるものにつきましては配付をしておりませんので、ご了承ください。

なお、議事録につきましては、2、議事録の確定の（1）及び3、部会の会議への準用により、事務局が案を作成し、皆様に内容を確認していただいた後、部会長の承認により確定させていただきます。

それでは、ここからは石井部会長に議事を進行していただきます。石井部会長よろしくお願ひいたします。

○石井部会長 おはようございます、石井でございます。

それでは、私が議事進行をさせていただきます。会議を円滑に進めてまいりたいと存じますので、よろしくお願ひいたします。

初めに、議題（1）議事進行について、事務局から説明をお願いいたします。

○諏訪都市総務課長 都市総務課長をしております諏訪と申します。よろしくお願ひいたします。委員の皆様には事前に多くの資料に目を通していただきまして、ありがとうございます。

私からは、議題の（1）議事進行について、ご説明させていただきます。

失礼であります、座って説明させていただきます。

お手元の資料6「議事の進行について」というフロー図をご覧ください。

初めに、施設所管課であります公園管理課より、指定管理予定候補者選定要項、指定管理者管理運営の基準、指定管理予定候補者選定基準の概要と、第1次審査の結果についてご説明させていただきます。その後、申請者であります株式会社千葉ロッテマリーンズより、10分間のプレゼンテーションと質疑応答を行わせていただきます。プレゼンテーションの終了1分前には事務局から申請者に対し、ベルでお知らせさせていただきます。

また、委員の皆様にお願ひがございまして。質疑応答中に事務局への確認事項等がございましたら、申請者退出後にご質問をいただくようお願い申し上げます。

次に、委員の皆様それぞれに行ってください。審査について、ご説明いたします。

資料7-5「審査表（第2次審査用）」をご覧ください。各審査項目について、選定基準に基づきマルまたはバツの記入をお願いいたします。審査後、事務局にて審査表の回収、集計をした後、委員の皆様を集計した結果をお配りし、その結果を発表させていただきます。

まず審査結果において、委員のうち1人でもバツの審査項目があった場合、選定評価委員会としての判断について協議を行っていただきます。その後、指定管理予定候補者を決定していただき、選定理由や評価する点などについてご意見をいただきたいと思いますと考えております。

説明は以上になります。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまのご説明に対しまして、委員の皆様、ご質問等ございましたらお願ひいたします。

特によろしいでしょうか。

それでは、議題（1）については以上で終了いたします。

議題（2）千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）の指定管理予定候補者の選定についてを行います。

まず選定要項・管理運営の基準・選定基準について、事務局よりご説明をお願いいたします。

○植木公園管理課長 公園管理課長の植木でございます。よろしくお願いいたします。

それでは座って説明をさせていただきます。

お手元の資料、資料7-1をお願いいたします。「【千葉マリスタジアム】指定管理予定候補者選定要項」です。

1ページをお願いいたします。1ページ目は目次で構成されております。1の指定管理予定候補者選定の趣旨から13のその他までとなっております。

2ページをお願いいたします。1 指定管理予定候補者選定の趣旨と、2として選定要項等の定義を記載してございます。

3ページをお願いいたします。選定の概要です。(2)指定期間は、令和3年4月から令和8年3月の5年間でございます。

(4)選定の手順についてご説明いたします。1、申請者への選定要項等の交付を8月31日に実施いたしました。2、指定申請書の提出期限を9月25日とし、申請書を受領しております。3、選定評価委員会を本日とし、ヒアリング、選定を実施いただきます。今後は4、選定結果の通知と、5、仮協定の締結を11月上旬を予定しております。6、指定議案の提出を、11月中旬から開会される令和2年第4回定例会に指定議案を提出いたします。その議決をいただきまして、7の指定管理者の指定と協定の締結を令和3年1月を予定しております。

ここで、非公募といたしました理由につきまして、補足説明をさせていただきます。株式会社千葉ロッテマリーンズ様は、1つ目に、指定管理者とプロ野球興行主の両面を持つことから、市民が利用する市民球場と市民の皆さんが見て楽しむトップスポーツが開催されるプロ野球のフランチャイズ球団の両面を図りながら円滑な調整ができること。2つ目に、プロ野球開催時には興行の視点からも球場周辺を含め、試合前のイベント、飲食・物販事業を効果的に展開することができ、千葉マリスタジアムのにぎわいづくりに大きく貢献することができること。3つ目に、利用料金収入及び自主事業収入により、指定管理業務の運営費用を賄っていただき、市の委託料が発生しないこと。さらには、年間で2,500万の修繕費用を指定管理者として負担いただいております。以上のことから、平成18年から既に3期、15年にわたりスポーツの振興と文化の向上に寄与いただき、安定した管理運営を担っていただいていることから非公募としたものでございます。

続きまして、すみません、選定要項の3ページにお戻りください。4の管理対象施設の概要でございます。(1)、条例上の目的として、目的、ビジョン、ミッションを記載してございます。

4ページをお願いいたします。(2)特徴で、(3)が施設の概要を記載しております。最下段の(4)指定管理者制度に関する市の考え方でございますが、内容は5ページをお願いいたします。こちらにつきましては、選定評価委員会のご意見をいただきまして、今回新たに①一般利用、来場者数を成果指標として設定いたしました。こちらは球団による練習利用や諸室等の利用は除外するものです。そのため、②に興行による利用者数、来場者数として明確に成果を把握していきたいと考えております。

なお、数値目標の数値でございますが、直近4か年の平均値とし、併せて、ただし数値はいずれも原則であり、新型コロナウイルス感染症対策などの特殊な事情がある場合は、当該事情を含め、総合的に評価を行いますという、時代的な状況を反映するとともに、年度評価及び総合評価において新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた評価を行うことができればと考え

ております。

③稼働率、こちらについてはこれまでと同様の指標でございます。

6ページをお願いいたします。6ページ、5、指定管理者が行う業務の範囲です。(1)指定管理者の必須業務の範囲のうち、イの施設維持管理業務の保守管理業務において、年額2,500万円までの修繕を含む旨、記載してございます。(3)再委託につきましては、一部制限を設けさせていただいております。

7ページをお願いいたします。6、市の施策等との関係です。こちらは市に代わって公の施設を担うに当たっての遵守していただくべき8項目を規定しております。

8ページをお願いいたします。7、指定管理者の選定手順は冒頭のご説明のとおりでございます。

飛びまして10ページをお願いいたします。10ページには8、申請に関する事項です。後ほどご報告いたします形式的要件審査の項目となります。

13ページをお願いいたします。13ページから15ページまでは9、経理に関する事項でございます。こちらの施設は利用料金制度を導入しておりますので、利用料金等自主事業の収入の取扱いについて規定をしております。

15ページをお願いいたします。10の審査選定でございます。提案書の内容などをアからカの6項目に基づき審査をいただくものとなっております。その下、遵守いただく11、関係法規でございます。

最後に16、17ページは13、その他として業務の継続が困難となった場合の措置や、リスク分担に関する方針、労働条件審査についての記載となります。

以上が指定管理予定候補者選定要項でございます。

続きまして資料7-2「千葉マリスタジアム指定管理者管理運営の基準」でございます。

1ページおめくりください。目次が3枚で構成されております。1枚目が第1、総則から第2、施設運営業務に関する12項目まで。2枚目が第2の13、情報公開、個人情報の保護及び秘密の保持に関することから、第3、施設維持管理業務に関する9項目まででございます。

1ページおめくりいただいて3枚目、第4の経理管理と第5のその他の重要事項で構成されております。

内容的には資料7-1、指定管理予定候補者選定要項の内容と重複いたしますので、前回からの変更点を今回、ご説明させていただきます。

大分飛んでいただいて、28ページをお願いいたします。ほぼ資料の最終の部分でございますが、28ページの下段、3、施設の今後のあり方の検討です。こちらは、前は施設の維持管理運営計画の策定という項目で、長期維持管理運営計画の作成に協力いただきたい旨を記載しておりましたが、今回は現在の状況でありますスタジアムの今後の在り方の検討を行っていくに当たっての協力について、予定などを記載している状況でございます。

30ページをお願いいたします。30ページに8、受動喫煙防止に向けた取組みです。前回の基準にはなかった受動喫煙防止に向けた取組みについて、令和元年7月1日に改正健康増進法が施行され、本市の各種条例を踏まえた適切な対処及び施設の利用者への適切な周知に努めることへの対応を追記しております。

その下9、新型コロナウイルス感染症防止策の実施です。こちらは前回の基準にはなかった新型コロナウイルス感染症防止策の実施について、新型コロナウイルス感染症の流行が終息するまでの期間においては市と連携しつつ、国や県、一般社団法人日本野球機構が定める指針やガイドラインに基づいた対応を行うことを追記しております。

資料7-2「指定管理管理運営の基準」についてのご説明は以上でございます。

続きまして資料7-3、「千葉市千葉マリスタジアム指定管理予定候補者選定基準」でございます。

1ページ目をお願いいたします。1ページ目は審査方式です。2ページにフローチャートで整理しておりますとおり、第1次審査を踏まえまして、本第2次審査後に千葉市長が指定管理予定候補者の決定をするという流れになっております。

3ページをお願いいたします。2、形式的要件審査になっております。提案書などから申請者が次の申請資格全てを満たし、かつ失格要件のいずれにも該当しないことを確認いたします。

4ページをお願いいたします。3、提案内容の審査です。

(1) 審査方法です。委員各位に提案書の内容を審査項目について、マル・バツで評価いただきます。全19項目のうち、3項目につきましては各審査項目に記載の基準に基づき評価をいただきたいと存じます。その3項目でございますが、2、施設の管理を安定して行う能力を有することのうち(1)団体の経営及び財務状況、4、施設の効用を最大限に発揮するものであることのうち(7)成果指標の数値目標達成の考え方、5、施設の管理に要する経費を縮減するものであることうち、(1)収入支出見積りの妥当性となります。

5ページをお願いいたします。こちらは大項目のみご説明させていただきます。1、市民の平等な利用を確保するものであることについて1項目。2、施設の管理を安定して行う能力を有することについて7項目。6ページをお願いいたします。3、施設の適正な管理に支障を及ぼすおそれがないことについて2項目。4、施設の効用を最大限に発揮するものであることについて8項目。最終7ページをお願いいたします。5、施設の管理に要する経費を縮減するものであることについて1項目。説明は以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

ただいまのご説明に対しましてご質問ございましたら、委員の皆様、お願いいたします。特にございませんでしょうか。

では、続きまして第1次審査の結果について、事務局からご説明をお願いいたします。

○植木公園管理課長 公園管理課でございます。

資料7-4をご覧ください。「第1次審査(形式的要件審査)の結果」となります。

9項目につきまして、全ての要件を満たしていることを書類で確認しております。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまのご説明に対しましてご質問、ございますでしょうか。

特にないでしょうか。

それでは、申請者である株式会社千葉ロッテマリーンズへのヒアリングを行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

では準備と、あと申請者をお呼びいただけますでしょうか。

(千葉ロッテマリーンズ 入室)

○石井部会長 ご準備よろしいでしょうか。

それでは、ただいまより10分間のプレゼンテーションをお願いいたします。

○千葉ロッテマリーンズ おはようございます。このたびは、千葉マリスタジアムの指定管理者選定におきましてご提案の機会をいただき、誠にありがとうございます。

10分間のプレゼンの時間にはカウントしていただきたくないのですが、チームは今、

ちょうど100試合戦いまして、残り20試合、マリンスタジアムで11試合を残している状況でございます。

そんな中、先般、新型コロナウイルスの感染で選手8名、それからスタッフを含めて14名の陽性者、それから6名の濃厚接触者を出してしましまして、皆様方には大変ご心配をおかけしたと思います。また、所管の千葉市の保健所の皆様にも迅速に対応していただき、球場での感染はないということを確認、そういう見解もいただき、何とか試合もやっている状態です。

昨日、陽性者であった5名の選手が練習には復帰しております。濃厚接触者の選手のほうがむしろちょっと時間がかかるという状況になっておりますけれども、いずれ近いうちに万全の体制でまた戦いに臨めると思いますので、そちらのほうもよろしくお願いたします。

それでは、本日ご提案の中身をより分かりやすく説明できるように、今からご説明のほうをさせていただきますので、よろしくお願いたします。

○石井部会長 じゃ、今から10分間と。

○千葉ロッテマリーンズ 改めまして、本日はよろしくお願いたします。

では、着座にて失礼いたします。

私からは、先般提出いたしました指定管理業務の提案書をよりご理解いただくため、本日は4つのポイントを中心に、こちらのスライドを用いまして補足説明させていただきます。

少し暗くしていただけますでしょうか。ありがとうございます。

では、始めさせていただきます。こちらのスライドをご覧ください。

まず1点目は、コロナ禍における施設の管理運営についてです。こちらは当社が令和3年度から指定管理業務を受託するに当たり、新型コロナウイルス感染症の存在は無視できないものと考えております。冒頭で触れさせていただきます。続いて2点目が一般利用、3点目が興行利用についての説明になります。最後の4点目が、利益の還元について説明いたします。

それでは早速1点目の、コロナ禍における施設の管理運営について説明いたします。

ご存知のとおり、今年度は新型コロナの影響でこれまでどおりの施設利用ができていない状況でございます。社会全体が大きなダメージを受け、私たちの生活にも影響を及ぼしております。そのような状況の中、千葉マリンスタジアムは6月に開幕したプロ野球、8月に開催した高校野球の独自大会、10月に再開した一般利用などを通し、社会へ勇気と感動を届ける役割を担っていると認識しております。同時に、各興行でのコロナ対策を行うことにより、施設利用者や来場者にとって安心かつ安全であることが、施設の管理運営において必要不可欠であると改めて再認識いたしました。

弊社はプロ野球という大規模集客イベントを検温や消毒といった施設内の防疫体制を整備しながら開催しております。そこで培ってきた知見やノウハウを発揮し、今後も安心して安全に利用できる環境づくりに努めてまいります。また、施設の利用促進という点におきましても、これまでの来場をベースとした事業に依存するのではなく、柔軟な発想で施設の新しい利用価値を生み出す必要があると考えております。後ほど一般利用、興行利用、それぞれで具体例を挙げて説明いたしますが、千葉マリンスタジアムの持つ資産を最大限活用し、市民、県民の皆様には様々な形で利用していただけるよう、より一層工夫をしてみたいと考えております。

弊社はこれまでの約15年間の管理運営実績やノウハウを礎としながら、防疫体制の整備といった安心・安全と創意工夫を凝らした利用促進を両立させ、これからも引き続き本施設の

設置目的であるスポーツの振興及び文化の向上を図ることを高い次元で実現してまいります。

続いて2点目の、一般利用についてご説明いたします。左側の写真は草野球を市民が楽しんでいる写真でございます。また、右側の写真にあるように、今年から新型コロナ対策として入場時の検温や、利用団体ごとに消毒作業を実施し、利用者の安心と安全を確保しております。新型コロナが終息するまでは、消毒作業の時間を確保するため利用枠が減少しておりますが、キャンセルが出た場合にはほかの団体へ利用枠を案内するなど、限られた日程でより多くの人々が利用できるよう心がけて運営しております。

次のスライドの左側は高校野球千葉県大会、右側は中学生を対象としたMARINES CUPの様子です。毎年恒例のイベントとして、アマチュア競技者に千葉マリスタジアムでプレーする機会を提供しております。ここでのプレーは、彼らの能力が最大限発揮され、憧れのグラウンドで真剣勝負をした体験は、最高の思い出になると考えております。そのような体験をより多くの人々に提供できるよう、引き続き努めてまいります。

また、次のスライドは弊社からの新たな提案をより具体的に例示したものです。これまでの野球、ソフトボールでの利用だけでなく、グラウンドや諸室など、本施設が持つ資産を様々な形で市民に提供できるのではないかと考えております。

例えば実際に、ほかの球場でも実施しているウエディングプランや、企業の研修などの場として、会議室やスタンドの開放、また地域の学校の課外授業の受入れなど、子供から大人まで多くの人に親しんでもらえるよう、創意工夫をしていきたいと思っております。

次期指定期間中に実施予定の利用料金の改定についても、このような様々な利用用途を想定しながら市と協力し、多様化する市民のニーズに応えられるようにしたいと考えております。

次に、3点目の興行利用に移ります。左側は、プロ野球の試合でダンスアカデミーの子供たちがダンスを披露している写真になります。プロ野球のフランチャイズ球場として、年間70試合前後の公式戦が行われ、昨年は過去最高の入場者数を記録しました。弊社が運営するファンクラブやシーズンシート契約者、プロ野球の試合で実施している地域振興イベントでの招待や優待など、弊社の強みであるプロ野球球団としての顧客基盤、地域の支援基盤を通し、より多くのお客様へ球場での観戦機会を提供してまいります。

次のスライドの左側は、毎年恒例のサマーソニックや幕張ビーチ花火フェスタの様子になります。プロ野球以外にもこのようなイベントやコンサートを開催することで、より多くの人々に球場まで足を運んでいただき、非日常的なエンターテインメントを体験していただいております。

また、右側の写真ですが、本年9月、無観客ライブの様子でございます。ご覧のとおり、客席部分には観客はおりませんが、1日で約10万人の方がオンライン視聴をされました。

先週末も同様の無観客ライブを行っており、コロナ禍において新たなニーズの高まりを感じております。また、無観客ライブの利点は一度に参加できる人数が無限に広がるだけでなく、貸出し日数の少なさにもあります。これまでのコンサートは最低でも1週間の空き日程を確保する必要がありましたが、無観客ライブは設営と撤去を合わせ4日間あれば開催が可能です。こうして利用日数を短縮することにより一般利用に回すことができるため、今まで以上に利用の促進につながれると考えております。

プロ野球や音楽フェス、コンサートの興行利用におきましても、引き続き様々な形での利活用を追求してまいります。

最後に、利益の還元についてご説明いたします。

弊社は、これまで利用者や来場者のサービス向上につながるよう、座席やベンチの改修などを数多く行ってまいりました。今後もこのようなサービス向上策を検討してまいります。

なお、その一つとして写真の左側にあるよう、車椅子席を増やす計画をしております。現在は車椅子席が8席ですが、3万人収容のスタジアムとしてはかなり少ないと感じております。車椅子の方を含め、少しでも多くの方に観戦を楽しんでもらえるよう、弊社としても貢献できればと考えております。

また、プロ仕様のグラウンドでのプレー機会を一般利用やアマチュア団体に提供することも利益の還元の一つだと考えております。昨年、マウンドやベース付近の土を国際大会の規格へ変更し、より高水準なグラウンドになっております。そのグラウンド状態を日々のメンテナンスで維持することで一般利用、アマチュア利用の価値が向上し、利用者にとってかけがえのない体験を提供できると考えております。

以上のように、千葉市及び千葉市民の財産である千葉マリスタジアムの管理運営業務を弊社が担うことで、スポーツの振興及び文化の向上を図るといった施設の設置目的の達成を目指してまいります。

今後、安心かつ安全と、利用促進との両立を図り、幕張新都心のランドマークとして、市民の誇りとなるよう努めてまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではありますが、弊社の指定管理者業務の提案の説明とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

○石井部会長 ありがとうございました。

それでは、質疑応答を行います。

委員の皆様、ご質問よろしくお願いいたします。

はい、どうぞ。

○観音寺委員 プレゼンありがとうございました。また、先日はご案内いただきましてありがとうございました。

質問というか、ちょっと意見も含めてになりますが、提案書の30ページになります。利用者の意見聴取、自己モニタリングの考え方ということで、一般利用者とイベント来場者にアンケートを実施しているということで、今までも年次評価等でこの結果をしっかりと捉えているというふうに認識しておりますが、ちょっとアンケートのやり方という部分で今後の参考というか、ご検討いただきたいなというところなのですが、一般利用者というのは、これは一般利用して予約してお金を払った人たちなので、その際にアンケートをお願いするというので、今までどおりでいいのかなと思うのですが、2つ目のこのイベント来場者というのは、これは野球観戦に来た人というイメージですかね。

○千葉ロッテマリーンズ その認識でございます。プロ野球の、年間70試合前後ありますので、来ていただいた方への施設を中心としたアンケートを取らせていただいております。

○観音寺委員 そうですね。これは、基本的にはロッテファンの方々が答えているイメージになりますかね。

○千葉ロッテマリーンズ はい。

○観音寺委員 実は、その中でちょっと抜けちゃう視点というのが、ロッテに関係ないというか、ロッテファンではない方でも、やっぱり今の説明もそうですし、この施設が千葉市の公の施設ということ考えると、違う層の人たちがどう考えているのかということところは、今後は拾っていったほうがいいのかなというふうに思っています。

その理由としては、今ご説明にもあったとおり、無観客ライブをやられていることとか、

いろいろなイベントなどをやりながら、このコロナに関してはもう、はっきり言ってどう付き合っていくかという話だと思っていて、その中で考えていくと、いろいろな集客だとか収益の柱の少しビジネスモデルを変えるだとかいうのがいろいろな業態で起きていますので、その辺りも考えていくと、何かロッテファンに聴くのはもちろん、球場来てくれたときの、例えば煙の話だとか椅子の話だとか、多分そんなに今後、新たな話って出てこないと思うんですよね。だから、なるべくもっと広い範囲に対しても、例えば球場に足を運んだことがない人は何で運んでいないのかなというところだとか、あとは来たことあるけれども、こんなことあるの知らなかったよという人も結構いるかなと思っていて、何かそういう辺りも少し今後フォローしていくと新たなビジネスチャンスというか、いうのも出てくるのかなということで、質問というよりはご検討いただけるとありがたいかなと思っています。

野球というのは軸、中心になるのは間違いないのですが、それを軸とした多様なエンターテインメントを提供する、また、市民を中心に広く受け入れていくという、何か少しモデルチェンジが出てきてもいいのかなという気がしたので、ちょっと提案させていただきました。以上です。

○谷藤委員 別の話でいいですか。

最初にあったコロナ対応の話なのですが、消毒作業の時間をたっぷり取ってということだったのですが、これは誰がされるのかという。団体に貸し出したらそこに全部お任せなのか、それ以外に管理者のほうでどんな形でやるのかというところが、ちょっと説明を補足していただければ。

○千葉ロッテマリーンズ 貸出しの団体によってケース・バイ・ケースかと思いますが、具体的にプロ野球以外の、高校野球、独自大会のケースにおいては、今回初めてコロナというところで、これまで先生方とか生徒さんの手伝いでチケットとかやったところなのですが、やはり検温とか消毒については、今回のケースでは我々の職員並びに委託業務で施設管理をしている職員のほうで責任を持ってやらせていただいたということがありますので、来年以降はそこはちょっと協議しながら、しっかりできる体制を取るという目的で、団体ごとと調整をしてまいりたいというふうには思っています。

一般利用については我々の施設側で、職員のほうで検温と、あと消毒作業というのをさせていただいているので、市民の方々に関してそういった負荷をかけるというわけではなくて、安心・安全で使っていただけるような土台をつくるということは我々のほうでやらせていただいている状況です。

○谷藤委員 何かスポーツ関係は、割といろいろなところでの共通にガイドラインがなっているかと思うのですが、そうではないライブとかありますよね。人が入らないとはいえ、かなり大がかりになっているので、そちらのほうとの調整も必要かなというのを感じました。

○千葉ロッテマリーンズ ライブ関係も、やっぱり開催に当たり、エンターテインメント業界の中である程度の指針があるというところをまず先方のベースはいただいた上で、施設特性を考えて、必要なところはこちらから適宜アドバイスさせていただいて、ライブに関してはイベンターさんを、責任を持ってやっていただくような形は取らせていただいています。

○谷藤委員 ありがとうございます。

○望月委員 球場の利用を一般の、例えばウェディングとかそういうほかのイベントへの活用も今後積極的にということだったのですが、その辺りに対する広報活動とか、あるいは無観客ライブだと、なかなかそういうのが行われているということを知らないので、視聴するのを逃してしまうようなことがあると思うのですが、何かそういう手立ては考えられています

か。

- 千葉ロッテマリーンズ まず、無観客ライブのところにつきましては、イベンターさんが主催者でありますので、今まで施設貸出し側としてはあまり弊社のホームページなどで大きな広報活動はしていなかったんですけれども、今後、イベンターさんとも調整しながら、いついつのこの日にこういった無観客ライブがあります、視聴希望の方は、こちらのホームページがどうぞみたいなリンクを貼るとか、そういったところはより一層協力していきながらできたら、我々マリーンズの野球のファンの皆様にも、この時期こういった形でやっているのだなというのは認知できるのかなというのは、少しずつ話はしておりますが、今回は当初予定していたコンサートがちょっとなくなって、急遽変わったといったところもありましたので、なかなかそういった広報活動というのは連携してできなかったんですけれども、今後はちょっとしていきたいなと考えております。

また、新たな球場の利活用のところ、ウエディングなんかというのは他球場でもやっていたので、ぜひ我々としても取り入れていきたいなですとか、スタンドだけ、空いていればスタンドだけの何かイベントとか会議、あと企業さんの運動会とかいったのを、弊社の営業部門のスタッフを通じて、こういった球場の新たな利用あるんだよといったところをちょっと各企業様ですとか、そういうウエディング関係の会社さんと何か手を組むとか、そういったところは今後行っていきたいなと思っております。

現在、今も1月と2月ぐらいにちょっと外周を使って何かしたいだとか、2月、工事中ですけれども、ちょっと会議室を使って会社の表彰式系をやりたいんだけどというオフ会は営業を通じて来ておりますので、そういったところを何とかして形にしていきたいなとは考えております。

- 望月委員 もう一点あるのですが、いいですか。

災害時の対応ということで、何かこのコロナの騒ぎで一気に目線がコロナ、コロナになっちゃっているのですが、自然災害とかに対する対応を、コロナが併存している状況の中で、何か対応策、工夫、変えられたことがあれば教えてください。

火災時とか人的災害みたいなことは結構、訓練のこととかよく書かれていますので、自然発生した災害とかに対してどう対応するかということは今後、従来とはやっぱり変わってくると思うので、何か予定していることがあれば教えてください。

- 千葉ロッテマリーンズ 過去から現在にかけては、特段こういうことをしていますという新しい取組みというのは正直今、目指すところとしてはないという状況です。

ただ、会社の中と外という考え方があると思うんですけれども、外という意味だと、もちろん地域の帰宅困難者会議とか、そういった協議会、地域との連携というところについてはもちろん当たり前ですが、我々も参加させていただいて、非常時の連携を取るというところは押さえさせていただいているかなと思っております。

中というところに関しましては、我々施設管理者の業務に当たるものを中心に、自衛消防業務という形で、基本的にはあらゆる災害に対してしっかり自分たちの身を守ることというところを基本とした教育というか、研修を受けているというのは、これまで一部の人間しかなかったんですが、今年についてはこういったものをきっかけに、ボールパーク統括室全員受けるという方向で実際やっておりますので、そういった組織の強化という意味でもやらせていただいているのが現状でございます。

- 望月委員 分かりました。ありがとうございます。

- 千葉ロッテマリーンズ あと、備蓄についてとか、若干まだ弱いかなと思っているところが

ありますので、我々としても考えていく必要があると思うんですけども、そこは施設、千葉市さんとも協議して、しっかり備蓄品はそろえるというところは最低限お客様を迎える施設として、何かしら考えていきたいと課題感としては持っています。

○望月委員 はい、分かりました。

○谷藤委員 いいですか。成果指標の数値目標についてお伺いしたいんですけども、私もいろいろな施設でこういった委員をしている中で、市が設定した数字そのドンピシャリというのはあまりなかったんですが、この辺に関してはどのような形でこの数字にしたのかと、見通しなどをお伺いできればと思います。

○千葉ロッテマリーンズ 5年前の今の指定管理の期間のときの数値目標と比べて、今回ご提示いただいた数値目標が15%ほど上がっているんですね。それはここ数年間の我々の努力によって、より多くの方に来場いただき、施設をご利用いただいているというところを踏まえてなので、短期的な見方で考えると、正直この200万人近い数値目標というのは非常に高いハードルだというふうには考えております。

今年度に関しても、プロ野球に関しては入場制限がかかっています、今の時点で50%までということなんですけど、恐らく今年の着地見込みでいうと45万人ぐらいのプロ野球の観客動員ということになります。これは令和2年度としてということなので今回のご提案書から外れてしまいますが、そこから再スタートという形になりますし、来年度のこういう大規模イベントに関しての入場制限に関してもどうなるかというのは、正直分からない部分がありますので、一旦これは少しチャレンジ的な目標になりますけれども、とにかく5年間の期間を通じて何とかこの目標値に回復する。それも5年目に回復するのではなくて、我々の中の事業計画としては2年後にはこの数字に近いところに持っていく。だから、正直令和3年度に関してはすごく厳しい、我々だけでどうにかなる問題でもないと思いますし。

ただ、一方で、昨日の政府の分科会で神奈川県の方が神奈川モデルというような形で、横浜スタジアムを使った実証実験をやるというようなことも議論されているというふう聞いています。具体的には10月の30、31、11月1日の横浜DeNA戦を使って、お客さんを限りなく定員数に近い3万人入れて、そのときの飛沫の飛び方とか、お客様の動き方とか、そういったことを検討して来年のオリンピックにつなげていくというようなこともなされるというふう聞いておりますので、そういった知見を生かしながら、何とか興行利用、プロ野球のところは元に近づけていく。

それから一般利用に関しても、できるだけ枠を多くということで、消毒の時間によって枠が潰れちゃうのであれば、これはご提案外というか、提案書からちょっと外れてしまいますけれども、営業時間を延ばすとかですね。例えば早朝の時間帯に延ばす。今は9時から9時というような時間帯が標準ですけども、これをもう少し朝の時間帯、夜の時間帯にできないかとか、あるいはこの日は工事で球場は使えないということになっていますけれども、工事とは関係のないエリアで例えば学校の授業の受入れをすとかというような形で、少し二毛作的な考え方もやって、何とか目標値に近づけていきたいなというようなことを考えております。

ですので、非常に高いハードルだなというところで、ちょっと数字を合わせちゃっている感じはありますけれども、何とかその5年間は、この単年度の目標掛ける5年というようなことを、この期間を通じて達成していきたいなというふうに考えております。

○谷藤委員 ありがとうございます。

別のところで上限が決まっているところがあるので、しょうがない部分はたくさんあると

思うんですけれども、先ほど、例えば無観客ライブとかで無限大ですとかという話ありましたけれども、それはいろいろところで言われていて、だから今の時点では指標としてこうというのはありますけれども、それ以外の可能性もどんどん積極的に考えていって、要は市民がこの施設を使ってよりハッピーになるというところに向かって、新たな指標づくりに向かっていってもらえたらなということも感じました。

○千葉ロッテマリーンズ ありがとうございます。

リアルに球場に来て体験するというのではなくて、リアルとバーチャルを含めたりとか、あるいはVR的なものとか、仮想現実のようなことも含めて、来場者という指標だけでなく、例えばマリンスタジアムと何らかの接点を持ったとか、ネットの視聴を通じてマリンスタジアムを体感できたというような方も、じゃ、その方たちの数というのもどう評価していくのかというのは、これは期間中になるのかどうか分かりませんが、考え方として我々も数字を追いかけていきたいと思えますし、評価の対象とするかどうかみたいところは議論させていただければなというふうに思っております。

○谷藤委員 お願いします。

○観音寺委員 ちょっと今の点に補足して。

実は私もそう思っていて、千葉市の公の施設なので、当然こういう数値目標というのは必要で、その一つのベンチマークとして利用者数とか来場者数というのは取らざるを得ないんですが、多分これからそういう考え方もだんだん変わっていくと思っていて、本当に無観客ライブの話じゃないですけども、もう数よりもやっぱり満足度とか、その人たちがどう感じて、次もまた行かなくてもマリンスタジアムなり千葉ロッテなり、いろいろな、千葉なりと関わり持っていこうとか、いい場所だねと思えるかどうかとか、そちらのほうがやっぱりこれから重視されていくべきですし、行政側としてもこういう数値目標よりも、例えばこれはもちろん、一応追うけれども、こういう部分を追っていこうとか、そういう少し多様な考え方になっていくと思えますので、その辺はぜひ、この数値目標を何とか達成するためになんか捨てるのではなくて、より目指すべきところはやっぱり関わった方々がハッピーに思えるかと、谷藤先生がおっしゃったのと本当に私も同意見なので、そこを頑張っていたきたいなと思えます。

○石井部会長 すみません、この興行による利用者、来場者なんですけれども、ロッテのプロ野球としての来場者は大体何割ぐらいになるんでしょうかね。193万人だとしたら。

○千葉ロッテマリーンズ 大体、去年の実績で80%台前半ぐらいなんです。この先コロナの中で、今、自由席の設定ができない状態。それはお客様の座席位置を特定するという考え方で、そうすると2,000席強、定員数を少なめに、どんなに頑張っても減らさざるを得なくなっていくので、そうすると2万8,000席ぐらいが実際の販売可能な定員数になってきます。それで70試合とかでやっていると、大体198万人ぐらいが上限になってくるので、今の目標値とほぼほぼ近い数字になってきます。

それ以外にコンサートとか違う形でのイベント利用を含めてという形なので、恐らく80%強、今80%台前半が80%台後半ぐらいに近づくのかなというような読みをしております。

○石井部会長 その販売可能な席を全部売り切るというのも必要なんでしょうね。

○千葉ロッテマリーンズ そうですね、はい。お客様のマインド、やっぱり安心・安全じゃないとそんな人混みの中にまた行くのかみたいなのが、これは早稲田大学の調査とかでも出ていたりとか、我々も独自に調査していますけれども、ようやく去年とほぼ近いような球場にまた行ってみたいというような定量的な数値が、ようやく先週ぐらいから出始めている

ので、何とか近づけていきたいなと、上限を超えたらいきたいなというふうに思っています。
ただ、自由席の販売はちょっとどうなんだろうなというところですね。人混みに紛れちゃうと何かあったときに追いかけれなくなっちゃいますので、そうすると3万人丸々、もう迎え入れられないんじゃないかなという。それこそ本当、新しいやり方をしていかなきゃいけないんだろうなというふうに思っています。

○石井部会長 ロッテに頑張ってください、みんなが行こうと思えるように。あと、日本シリーズが開催できれば、その分また増えるわけですよ。

○千葉ロッテマリーンズ そうですね。日本シリーズも今のところ上限50%という話で来ていますが、もしかしたら神奈川モデルの実証結果によってはもう少し上限が緩和されるかもしれません。

○石井部会長 あと、すみません、全然別の話になるのですが、提案書だと23ページに利用料金等のことが書かれています。ロッテがこの球場を使う場合には、料金とかというのはどういう扱いになっているのでしょうか。試合のときもそうですし、それから冬、オフシーズンに練習で球場ずっと使っちゃう、取っておくというケースもあるかと思うんですけども、そういった場合とか、室内とか。そこの辺はどのようになっているのでしょうか。

○千葉ロッテマリーンズ その場合、利用者と管理者が同一という状態かと思えます。もちろん、報告上、記録上はしっかり貸出先は弊社というかロッテという形で、料金設定もこの料金に基づいての貸出しを行ってしっかり管理しているというところがございます。

提案書、後ろのほうの収支表にも計画値という形で弊社の諸室利用というか、あとはチームの練習とか試合利用という形で分類、分けて数字のボリュームを書かせていただいているというところですよ。

すみません、数字は丸めて記載している形です。失礼しました。年度の事業報告等は千葉市さんに対して、先ほど申し上げた形では毎年報告させていただいています。

○石井部会長 提案書についている収支予算書のこの利用料金収入のところには入ってきてはいないわけですかね。ここに入っている……

○千葉ロッテマリーンズ 入っております。

○石井部会長 入っているんですかね、なるほど。じゃ、それも収入としてカウントした上でということですね。

○千葉ロッテマリーンズ はい。

○石井部会長 そのほか何かご質問、いかがでしょうか。

○観音寺委員 大丈夫です。

○石井部会長 よろしいでしょうか。

それでは以上で終了となります。

株式会社千葉ロッテマリーンズさん、どうもありがとうございました。

○千葉ロッテマリーンズ一同 ありがとうございました。

(千葉ロッテマリーンズ 退室)

○石井部会長 それでは、ただいまのプレゼンテーション等を踏まえ、まず事務局に対する確認事項、何かございますでしょうか。審査後にも意見交換を行います、審査の前に委員同士での意見交換が必要なことがあればこの場で行いたいと思いますので、併せて、何かあればお願いいたします。

特にないでしょうかね。

それでは、審査を行いたいと思いますので、皆様ご記入をお願いいたします。

(審査・採点)

○石井部会長 それでは、意見交換を行いたいと思いますが、何かございますでしょうか。

本日はご欠席の善積委員からのご意見ということでいただいておりますので、それをちょっとここで述べさせていただきますと思います。

団体の経営及び財務状況について特に問題となる点、気づいた点はございませんでした。これまでも指摘させていただきましたが、計算書類、財務諸表を見る限り、自己資本比率が低い、負債比率が高い点は、財務状況からすると気にかかるところです。ただ、70期、71期において損益、業績が大幅に改善しており、そのことが財務状況にも好影響を与えています。今後は損益、業績を引き続き改善していくことが課題となると言えます。

以上です、よろしく願い申し上げます。

というご意見をいただいております。

はい、どうぞ。

○観音寺委員 株式会社千葉ロッテマリーンズさんは今までの経緯もありますし、しっかり運営されていますし、全く問題ないのかなと私は思っています。むしろコロナの中で、非常に苦しい中で精いっぱいやっていたらしゃって、その辺は千葉市のほうでもご評価されている結果、補正予算を組んだということだと思っておりますので、やっぱりこれからのこういう指定管理ってなかなか手が挙がらないなんて話も出てくる中ではありますので、いかに大事にして、かついかに協調しながら、歩み寄りながら、最終的には市民の満足度をどう高めるかというところが最大の目的だと思いますので、千葉市が上からどうこうではないし、事業者のほうも逆に上からでもなく、お互いパートナーとして尊重し合いながら、このコロナも含めて乗り切るためにどうすればいいかという話し合う場なりディスカッションなりを続けながら、我々委員としてもその辺をバックアップできればなというふうに思います。

○石井部会長 ありがとうございます。

いかがでしょうか。何かございますでしょうか。

○谷藤委員 管理運営に関しては、これまでどおりも評価しますし、これからも期待しつつお願いしていいかなと思います。

あと、ちょっと気になるのは、やっぱりどうしてもロッテファンに対して向いているところが大きいので、先ほど最初にご質問していただいたアンケートのところでもロッテファンに聞いているというので、これから先、野球もまだどこまで復活するか分からないと、よりそういう傾向になっていくかなというのがちょっと気にかかるところなので、市への要望になっちゃうかと思うんですけども、これまでもアンケートを工夫してくださいという意見を何回も出しても、やっぱりホームページとかファンクラブとなっていたので、逆に市のほうから別の形で市民全部に調査をしてもらおうという、そのノウハウをお願いするという、そういう形でロッテファン以外の市民に向けてもハッピーにできるようにという工夫がされるといいなと感じました。

○観音寺委員 千葉市のモニターがいましたね、何か。

○谷藤委員 そう、そういうのを使いながらというか。

○観音寺委員 ああいうのは使えないのですか。

○植木公園管理課長 公園管理課でございます。千葉市もウェブアンケート調査という仕組みもございますし、まさに観音寺先生からもご指摘のとおり、こういったホームタウン的なフランチャイズのものは準公共財として捉えた場合に、経済農政局のほうにホームタウンを所管する観光MICEというところがございますので、我々施設管理だけの視点ではなく、そ

ういったものとの連携を図りながら広く、マーケットサウンディングじゃないんでしょうけれども、市場の状況を把握していくということも不可能ではないと考えております。

○観音寺委員 結構、やっぱり何だかんだ言っても行ったことない人ってそこそこいると思うんですね。行く人はもう何度も行って、市民でも何十回、何百回と行っている人もいられるでしょうし。ただ、一回も足を運んだことがない人というのめかなりいるので、じゃ、同じ市民であって、税金も投入されている中で、それでいいのかと考えていくと、やっぱりロッテファン以外にも聞いていきたいなというのは思ったので、最初に質問させていただいた次第です。

○谷藤委員 ただ、何かロッテファン以外に聴くツールというか、それがルートがないのかなという気がしたので、市のほうとうまく連携できるといいのかなというふうに感じたという話です。

すみません、指定管理の話とちょっとずれちゃったかもしれないですけども。

○石井部会長 ロッテファン以外に聴くというところでは、野球に関係しちゃいますけれども、相手チームの応援席の入場するところで、何か紙媒体でもいいですけども配って、そこで回答してもらおうとかいうことをやってもいいのかなという気もしました。

○観音寺委員 市民のモニターで調査する場合ってお金ってかかるんですか。

○公園管理課 市民向けウェブアンケートの活用に関しましては、こちらは市の業務でございますので、無料で活用は可能でございます。年度末に登録いたしまして、年度単位で市の広報聴課のほうで実施しているアンケートに入れるような形になります。

○観音寺委員 毎月やっているんですね、たしか。

○公園管理課 はい。

○観音寺委員 それで3問とか4問とか何か指定があって、今月は、例えば大賀ハスについて聞きましょうとか、そんなようなものでしたよね。

ぜひ千葉市のほうからアプローチしてあげるといいかなと思います。

○公園管理課 今後、活用について検討させていただきます。

○石井部会長 特によろしいでしょうか。

何かあればぜひ。

○望月委員 皆さんおっしゃっていただいているので、何か組織としては大分体制もしっかりしているので、お任せして安心かなと思えました。ただ、あと、今後イベントの形とかが多分変わっていくので、もう既に皆さんおっしゃっていたように、その評価する仕組みとかツールなりをやっぱり今後、そのイベントに合わせて改善が必要かなと思えました。

○石井部会長 ありがとうございます。

私も皆様と同じで、もう引き続きやってもらうしかないだろうと。十分期待に応えてやってくれるだろうなというふうに考えております。

では、意見交換としましては以上で終了といたします。

最後に審査表を確定しますので、いま一度ご確認をお願いいたします。

では、事務局は審査表の回収及び集計をお願いいたします。

(審査表回収・集計)

○石井部会長 事務局が集計を終えるまで一時休憩といたします。

(休憩)

○石井部会長 それでは、事務局での集計が終わりましたので、部会を再開いたします。

集計の結果を事務局からご報告をお願いいたします。

○須長都市総務課長補佐 お手元に集計の結果をお配りさせていただきました。

結果をご報告いたします。

各委員の審査結果はお手元の集計表に記載のとおりでございます。バツの評価の審査項目はございませんでした。

以上でございます。

○石井部会長 ありがとうございます。

ただいま事務局からご報告いただきましたが、当部会として株式会社千葉ロッテマリーンズを指定管理予定候補者に選定することについてご異議はございますでしょうか。

ないようですので、千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）に係る指定管理予定候補者は、株式会社千葉ロッテマリーンズとして市長に報告いたします。

なお、選定理由及び意見等についても報告することとなっております。意見等、先ほどの点に付け加えて何かございますでしょうか。

では、先ほどのとおりということによろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○石井部会長 千葉ロッテマリーンズさんは平成18年4月から管理運営されていますので、その業務ノウハウ等を生かして、よりよい指定管理をしていただきたいと思います。

それでは、今日出ました意見を当部会としての意見といたします。

これで本日の議事は全て終了いたしました。

以上をもちまして、令和2年度第2回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を閉会いたします。

それでは、事務局にお返しいたします。

○石橋公園緑地部長 本日は長時間にわたりまして慎重なご審議ありがとうございました。

おかげさまで次期指定管理者の候補の選定ということに至りまして、この場をお借りしまして御礼申し上げます。ありがとうございます。

本日の結果を基にしまして、私ども、指定の手續を今後進めてまいります。また本日、大変貴重なご意見賜りました。今後、次期指定管理者と必要な協議調整進めてまいりたいと思いますし、また、私ども市のほうで取り組むべき事項もあると思っています。そういった点についても順次実現に向けて準備進めてまいりたいと思います。今後も引き続き皆様のご指導・ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

本日はありがとうございました。

○須長都市総務課長補佐 それでは、本日の会議はこれにて終了させていただきます。

委員の皆様、どうもありがとうございました。